

# 令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会報告書

## 【 小学校 社会 】

所属名 西北教育事務所  
職名・氏名 指導主事 須藤 崇

### 【報告書のポイント】

- ・単元等でどのような視点や方法（見方・考え方）を働かせることが大切か考え、子どもが見方・考え方を自ら働かせて社会的事象の意味を考えていくよう、教師が意図的に授業をデザインすることが重要。
- ・政治の働きへの関心を高める内容を意識的に取り扱うことや、社会への関わり方を選択・判断したり、多角的に考えて地域や国の発展について考えをまとめたりする学習活動を、3～6学年の各単元に位置付けて授業を実施することが重要。

「社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を通す」社会科学習



文部科学省

令和5年度各教科等教育課程研究協議会  
令和5年11月21日

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

小倉 勝登

## 社会科の目標

### (I)目標の改善

社会的な見方・考え方を働かせ  
課題を追究したり解決したりする活動を通して、

小学校・中学校  
共通

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。



「社会的な見方・考え方を働かせ」とは

=社会科における見方・考え方を示している

「課題を追究したり解決したりする活動を通して、」とは

=教科の特質に応じた学習活動を示している

=☆問題解決的な学習

社会的事象の見方・考え方を働かせ、  
問題解決的な学習を通す小学校社会科学習

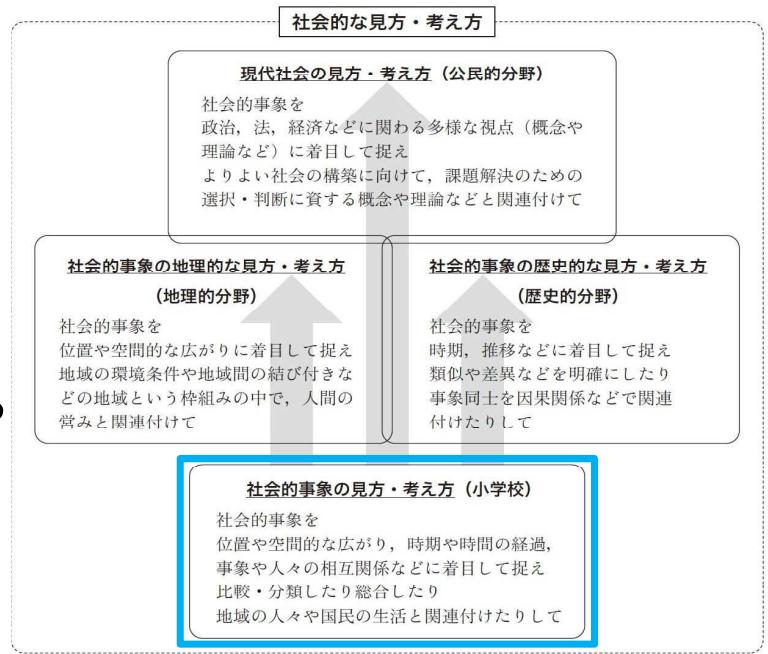
社会的事象の見方・考え方を働かせ、とは…



## 社会的な見方・考え方とは

# 社会的な見方・考え方を小・中学校社会科として整理

「社会的な見方・考え方」は、小学校社会科、中学校社会科において社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の「**視点**や**方法**（考え方）」であると考えられる。



私たちがある社会的事象と出会い、その社会的事象のもつ特色や意味を捉える時に、「どこを見たらいいのか」「何を見たらいいのか」という着目する「**視点**」と「どのように考えたらいいのか」という「**方法**」

見  
方

位置や空間的な広がり

時期や時間の経過

事象や人々の相互関係など

社会的事象を捉え、

比較・分類したり総合したり、

地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること（方法）

考  
え  
方

○小学校社会科においては、「社会的事象の見方・考え方」を働きかせ、学ぶことを重視する必要がある



# 「社会的な見方・考え方を働かせる」とは、

「視点や方法」を用いて課題を追究したり解決したりする学び方を表す

小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説社会編p.18,19例示

(位置や空間的な広がり)などを問う視点から、

(時期や時間の経過)などを問う視点から、

(事象や人々の相互関係)などを問う視点から、

それぞれ問い合わせを設定して、

社会的事象について調べて、

その様子や現状などを捉えること

どのような違いや共通点があるかなどと、

比較・分類したり総合したり、

どのような役割を果たしているかなどと、

地域の人々や国民の生活と関連付けたりする方法で、

考えたり選択・判断したりすること



## 「社会的事象の見方・考え方」と「問い合わせ」の関係



子供たちの資質・能力の育成のためには、授業改善が必要である。

授業改善には、「見方・考え方」を働かせることが重要である。

「見方・考え方」を働かせるためには、「問い合わせ」の設定が必要である。

一人一人の子供に、これから時代に求められる資質・能力を育成

→ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進

→ 深い学びの鍵としての  
「見方・考え方」を働かせることが重要

問い合わせの  
重要性

→ 「見方・考え方」を働かせる

→ 「問い合わせ」の設定が不可欠

「社会的事象の見方・考え方」を用いた考察、構想や、  
説明、議論等の学習活動が組み込まれた、課題を追究したり解決したりする活動が不可欠である。



# 学習指導要領（小学校 社会）解説 を読むと その単元で働く 社会的事象の見方・考え方方がわかる

小学校社会科の学習  
社会的事象の見方・考え方を働きかせ、  
問題解決的な学習を通して、  
資質・能力の育成を図る

## POINTは

「○○に着目して問い合わせを設けて調べ、  
□□と△△を比較・分類・総合、関連付けして考える」

### ※学習指導要領を読むとわかる

例：第3学年内容（2）イ「地域に見られる販売の仕事」

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

イの(イ)の消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現するとは、

社会的事象の見方・考え方を働きかせ、販売に携わっている人々の仕事の様子について、  
例えば、

見方

消費者はどのようなことを願って買い物をしているか、

商店の人は消費者の願いに応え売り上げを高めるためにどのような工夫をして  
いるか、商品や客はどこから来ているかなどの問い合わせを設けて調べたり、

○○に着目して

販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて考えたりして、調べ  
したことや考えたことを表現することである。

考え方

□□と△△を関連付けて考えたり

# 「社会的事象の見方・考え方を働かせ」に関しても、 学習指導要領をまず読んでつかみたい

「○○に着目して問いかけて調べ、  
□□と△△を比較・分類・総合、関連付けて考える」

見方	学習指導要領の記載事項 「○○に着目して」	解説の記載事項・問い合わせの例 「例えば、○○などの問い合わせを設けて」
	消費者の願いに着目して	「消費者はどのようなことを願って 買い物をしているか」
	販売の仕方に着目して	「商店の人は消費者の願いに応え売り上げを 高めるためにどのような工夫をしているか」
	地域や外国との関わりに 着目して	「商品や客はどこから来ているか」

考え方	解説の記載事項例「□□と△△を比較・分類・総合・関連付けして考える」
	販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて考える

見方	学習指導要領の記載事項 「○○に着目して」	解説の記載事項・問い合わせの例 「例えば、○○などの問い合わせを設けて」
		<p>例を参考に、このような様式に大事な部分を抜き出して整理すると「社会的事象の見方・考え方を働かせた」単元等の授業デザインに役立つのではないか？」</p>

考え方	解説の記載事項例「○○と○○を比較・分類・総合・関連付けして考える」



## 単元を通した授業デザイン（単元構想）

単元等で

単元で考える

どのような視点や方法（見方・考え方）を 学習指導要領を読む  
働かせることが大切か考え、

教材の開発・吟味、分析を行い、

(見方・考え方を) 問い合わせや資料、学習活動などに 見方・考え方と問い合わせる 等  
潜ませるように計画することで

子どもが見方・考え方を自ら働かせて  
社会的事象の意味を考えていくように

教師が意図的に授業をデザインすることが重要

※社会的事象の見方・考え方をくり返し働かせる



前単元を本単元で生かしたい  
既習を生かして単元をつくりたい

「社会的事象の見方・考え方を くり返し働かせる」  
ために 意図的な単元デザインをする

くり返し社会的事象の見方・考え方を働かせるように単元  
デザインしていくことで、子供たちの中で社会的事象の見  
方・考え方を鍛えられ、他の社会的事象出合ったときに、こ  
れまで身に着けた視点と方法で追究を図っていくことになる  
ものと考える。

# ※社会的事象の見方・考え方をくり返し働かせる

## Point①

学習指導要領の内容の中で、  
いくつかの単元を含んでいるものについて、  
同じ社会的事象の見方・考え方を働かせて問題解決を図るものを  
読み取る。

第3学年(3)「地域の安全を守る働き」…警察署と消防署

第4学年内容(5)「県内の特色ある地域の様子」…県内の3つの地域

第5学年内容(2)「我が国の農業や水産業における食料生産」…稲作、水産物等



### 【第3学年(3)「地域の安全を守る働き」】 Point①に関して

消防署でも警察署でも、同じ社会的事象の見方・考え方を働かせて問題解決を図る  
消防署でも警察署でも、理解することは同じ（消防署と警察署で）

	着目して	問い合わせ
見方	施設・設備などの配置	どこにどのような施設・設備があるか
考え方	緊急時への備えや対応	どのように連携・協力して火災や事故などの発生に備えたり対応したりしているか
比較・分類・総合・関連付けして考える例		
諸活動と人々の生活を関連付けて（関係機関の働きを）考える		

(ア)	消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に對処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する
-----	---

## 「地域の安全を守る働き」単元デザイン

### 単元1 「事故や事件から人々の安全を守る」

MQ：事件や事故から地域を守るために、  
だれがどのようなことをしているのだろう。  
警察署が・・・、地域の人々が・・・、

学習問題の設定・見通しまで2時間

- 施設・設備などの配置
- 緊急時への備えや対応
- 関係機関や地域の人々の諸活動
- 相互の関連や従事する人々の働き

- ◎地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に對処する体制をとっていること
- ◎関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する

消防と警察、農業と水産業のように類似性が高い内容（単元）は、同じように展開できるため、社会的事象の見方・考え方を繰り返し働かせる単元設計が可能

同じように展開できるので、前単元を生かして考える

社会的事象の見方・考え方を繰り返し働かせて考える

単元1、単元2を通して考える

### 単元2 「火災から人々の安全を守る」

MQ：火事から地域を守るために、  
だれがどのようなことをしているのだろう。  
消防署が・・・、地域の人々が・・・、

学習問題の設定・見通しまで1時間

- 施設・設備などの配置
- 緊急時への備えや対応
- 関係機関や地域の人々の諸活動
- 相互の関連や従事する人々の働き

- ◎地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に對処する体制をとっていること
- ◎関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する

学習したことを基に… 地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできる（内容の取扱い(3)イ）

【問い合わせ】これからもまちを守るために、自分たちは何ができるだろう。

## ※社会的事象の見方・考え方をくり返し働かせる

### Point②

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編P.150,151

「小・中学校社会科における内容の枠組みと対象」を参考に、  
類似した内容や内容同士の関係性、内容の系統性などを読み取る。

第3学年(I)「市の様子」と第4学年(I)「県の様子」



## Point②に関して

小・中学校社会科における内容の枠組みと対象

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説  
社会編P.150,151「小・中学校社会科における内容の枠組みと対象」を読む  
第3学年「市の様子」と第4学年「県の様子」を例に考えてみる

対象	地域	地理的環境と人々の生活		現代社会
		日本	世界	
3年	(1) 身近な地域や市の様子 イフ「仕事の種類や産地の分布」		(2) 地域に見られる生産や販売の仕事	
4年	(1) 県の様子 アフ「47都道府県の名称と位置」		(2) 人々の健康や生活環境を内容の取扱い (3) イ「開拓、富庶などの事例(選択)	
	(5) 県内の特色ある地域の様子			

第3学年と第4学年で学年は違いますが、同じ「地理的環境と人々の生活」に区分され、その中でも「地域」に区分される内容  
内容が類似し、単元展開が似てくることが考えられる

対象	地域	地理的環境と人々の生活	
		日本	世界
3年	(1) 身近な地域や市の様子 イフ「仕事の種類や産地の分布」		
4年	(1) 県の様子 アフ「47都道府県の名称と位置」		
	(5) 県内の特色ある地域の様子		
	(1) 我が国の国土の様子 と国民生活 イフ「生産物の種類や分布」		

### 【第3学年(I)「身近な地域や市区町村の様子」】

見方	着目して	問い合わせ
	<u>市の位置</u>	市はどこに位置しているか
	<u>市の地形</u>	(どのような様子か)
	土地利用	どのように利用されているか
	<u>交通の広がり</u>	どのように広がっているか
	公共施設の場所と働き	(どこにあるか) (どのような働きをしているか)
	建造物の分布	どのように広がっているか (どこに、どのようなものがあるか)
	<b>比較・分類・総合・関連付けして考える例</b>	
考え方	場所ごとの様子を <b>比較して</b> 違いを考える	

### 【第4学年(I)「都道府県の様子」】

見方	着目して	問い合わせ
	<u>県の位置</u>	自分たちの県は日本のどこに位置しているか
	<u>県全体の地形</u>	どのような地形が見られるか
	主な産業の分布	主な産業はどこに分布しているか
	<u>交通網</u>	交通網はどのように広がっているか
	主な都市の位置	主な都市はどこに位置しているか
	<b>比較・分類・総合・関連付けして考える例</b>	
考え方	<b>総合して</b> 県の地理的環境の特色を考える	

# 社会的事象の見方・考え方を働かせ、 問題解決的な学習を通す小学校社会科學習

問題解決的な学習を通すとは…



小学校

目標：「課題を追究したり解決したりする活動」  
を通して

※小学校社会科の各学年の目標においては  
「学習の問題を追究・解決する活動」と表記

問題解決的な学習過程の充実を図る際には…

主体的・対話的で深い学びを実現するよう  
児童が社会的事象から学習問題を見いだし、問題  
解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、追  
究結果を振り返ってまとめたり、新たな問い合わせを見  
いだしたりする学習過程などを工夫することが考  
えられる。



## <単元の流れ>

子供が 社会的事象から問い合わせをもつ	教師の仕掛け →出合い
見通しをもって 追究するから 主体的になる！	単元の学習問題 →見通し・学習計画
解決の見通しを立て	→全体や個で追究 一人一台端末
資料などを活用して調べ、	→解決のための話し合 議論・討論
みんなで話し合ったり、 考えたりして まとめる（解決する）	→説明する、書く
まとめたことを社会につなげたり、→選択・判断	新たな問い合わせにつなげたりする→よりよい社会を

### 小学校社会科における主権者として 求められる資質・能力を育む教育の推進 について



文部科学省

令和5年度各教科等教育課程研究協議会

令和5年11月21日（火）

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

小倉勝登

**Point 1 「内容」**：今回の改訂により、  
「政治の働きへの関心を高める内容の改善・充実」が  
図られた内容

**Point 2 「学習活動」**：内容の取扱いについての  
配慮事項（解説：P141, 142）

社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて、自分たちの行動や生活の仕方や、これからの中の社会の発展などよりよい社会の在り方などについて考えること

→社会への関わり方を選択・判断する、  
多角的に考えて発展について考え方をまとめる

## 第3学年 Point 1 について

### (1) 身近な地域や市の様子

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、  
市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布など  
に着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現  
すること。

### (4) 市の様子の移り変わり

#### (内容の取扱い)

(4) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

イ イの(ア)の「公共施設」については、市が公共施設の整備を進めて  
きたことを取り上げること。その際、租税の役割に触れること。

## 第4学年

### (3)自然災害から人々を守る活動

#### (内容の取扱い)

(2) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

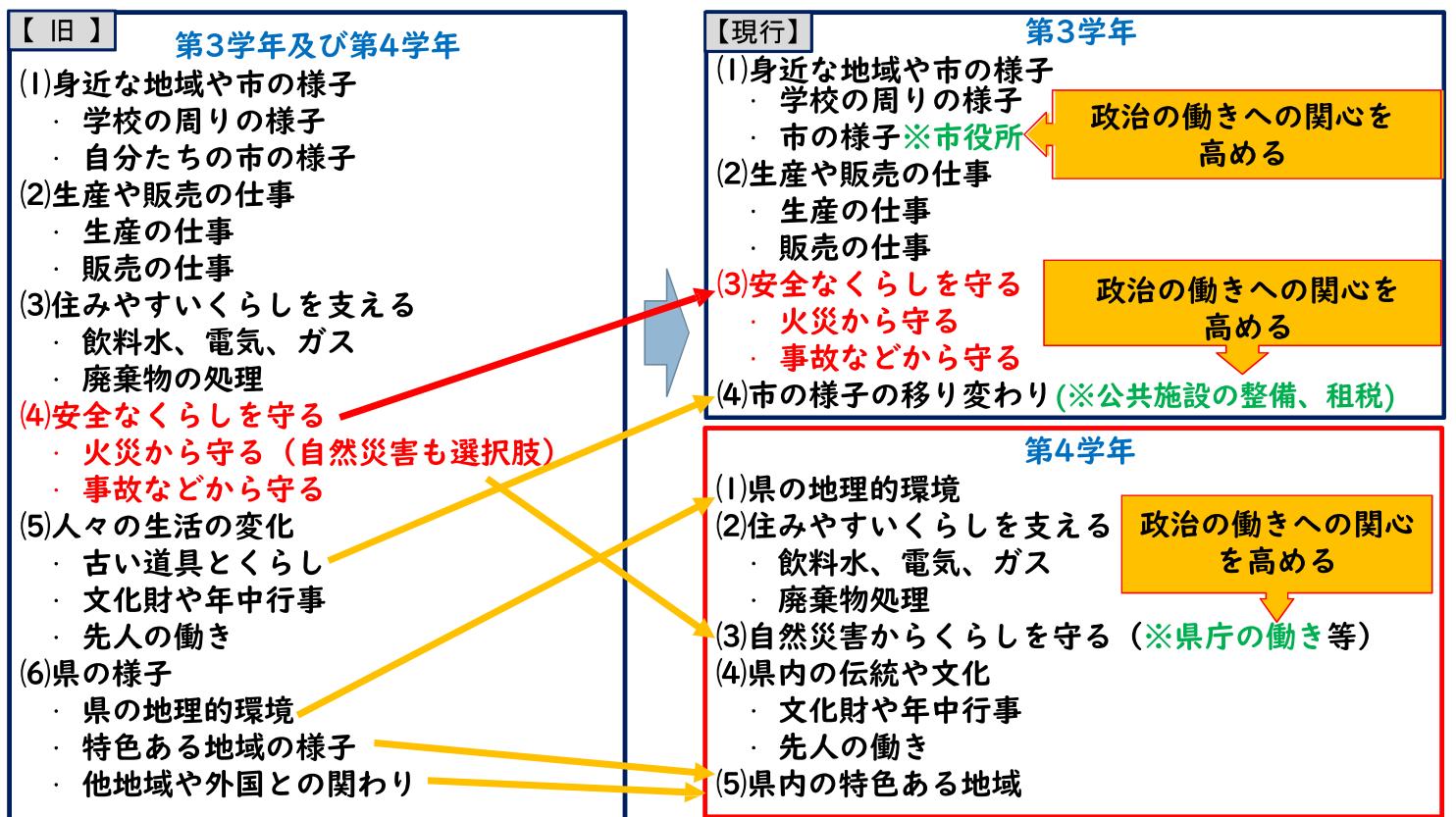
イ アの(ア)及びイの(ア)の「関係機関」については、県庁や市役所の働きなどを中心に取り上げ、防災情報の発信、避難体制の確保などの働き、自衛隊など国の機関との関わりを取り上げること。

## 第6学年

### (1)我が国の政治の働き

内容(2)→(1)

政治の働きへの関心を高めるようにすることを重視して、これまでの順序を改め、内容の(2)を(1)として示す



## 第3学年

# Point 2について

### (3)地域の安全を守る働き

#### (内容の取扱い)

イ イの(ア)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

### (4)市の様子の移り変わり

#### (内容の取扱い)

(4) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

ウ イの(ア)の「人口」を取り上げる際には、少子高齢化、国際化などに触れ、これから市の発展について考えることができるように配慮すること。

## 第4学年

### (2)人々の健康や生活環境を支える事業

#### (内容の取扱い)

エ イの(ア)については、節水や節電など自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

オ イの(イ)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、ごみの減量や水を汚さない工夫など、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

### (3)自然災害から人々を守る活動

#### (内容の取扱い)

(2) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ウ イの(ア)については、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

## 第5学年

### (2)(3)(4) 我が国の食料生産、工業生産、産業と情報の関わり (内容の取扱い)

消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

情報を有効に活用することについて、情報の送り手と受け手の立場から多角的に考え、受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることに気付くようすること。

産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。



## 第5学年

### (5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連

#### (内容の取扱い)

ウ イの(イ)及び(ウ)については、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

## 第6学年

### (1)我が国の政治の働き (内容の取扱い)

(2) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。

イの(ア)に関わって、国民として政治への関わり方について多角的に考えて、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

### (3)グローバル化する世界と日本の役割 (内容の取扱い)

(3)エ イについては、世界の人々と共に生きていくために大切なことや、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。



学年	内 容	内容の取扱い
3年	(3) 「地域の安全を守る働き」	選択・判断
	(4) 「市の様子の移り変わり」	発展
4年	(2) 「人々の健康や生活環境を支える事業」	選択・判断
	(3) 「自然災害から人々を守る活動」	選択・判断
5年	(4) 「県内の伝統や文化、先人の働き」	選択・判断
	(2) 「我が国の農業や水産業における食料生産」	多角的・発展
6年	(3) 「我が国の工業生産」	多角的・発展
	(4) 「我が国の産業と情報との関わり」	多角的・発展
	(5) 「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」	選択・判断
6年	(1) 「我が国の政治の働き」	多角的
	(3) 「グローバル化する世界と日本の役割」	多角的 選択・判断

**「主権者として  
求められる力」**  
を子供たちに育むために

実社会との接点を重視した  
課題解決型学習プログラムに係る実践研究  
に関連して

文部科学省

## 目次

### ■ 理論編

1. 主権者教育とは何か	3
(1) 選挙権年齢の引下げに伴う動き	3
(2) 中央教育審議会における審議	3
(3) 学習指導要領における主権者教育の位置付け	4
2. 各学校における主権者教育の実施に当たって	5
(1) 教科等横断的な視点からの教育課程の編成	5
(2) 主権者教育における各教科等の位置付けの理解	5
① 社会科	5
② 特別活動	6
(3) 主権者教育の充実のための視点の理解	6
(4) 学習活動の展開に当たって特に留意すべきこと	7
① 社会的事象の取扱い	7
② 学校における政治的中立の確保	7

### ■ 実践編

1. 小学校社会科における指導事例	13
(1) 第3学年「市の様子の移り変わり」	13
(2) 第4学年「自然災害から人々を守る活動」	22
(3) 第6学年「わたしたちの願いと政治の働き」	32
2. 中学校社会科における指導事例	40
(1) 公民の分野「国民の生活と政府の役割」	40
《コラム》実践紹介「生徒が身近な社会問題を解決し、財政及び租税の役割に気付く」	49
(2) 公民の分野「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」	50
《コラム》実践紹介「民主政治と政治参加」	61
(3) 公民の分野「外部機関とつながる」「ICT機器を有效地に使う」	74
3. 小学校特別活動における指導事例	77
(1) 第4学年 学級活動(1)「学級の歌をつくろう」	77
(2) 第5学年 学級活動(1)「体活動」	87
(3) 児童会活動「児童会のテーマを決めよう」	97
《コラム》「主権者としての意識の醸成に向けて取り組むクラブ活動」(小学校)	106
4. 中学校特別活動における指導事例	108
(1) 学級活動(1)「学校生活の主体者としての自覚をもとう」	108
(2) 生徒会活動「学校生活の主体者としての自覚をもとう」	114
(3) 生徒会活動・学校行事「河川清掃活動でよりよい地域づくりに貢献しよう」	122